



耳の不自由な人に対して

① 耳の不自由な人といっても、全く聞こえない人、難聴の人などさまざまです。

② 意外と知られていないことですが、耳の不自由な人には話好きの人が多いためです。あなたのほうに話す意思さえあれば、方法はいろいろあります。まず、心を開いて話しかけてください。

③ 耳の不自由な人との会話の方法には次のようなものがあります。
(口話法) 口の動きを読みとる方

法です。話すときは、相手の正面に立ち、口をやや大きく開き、はっきり、ゆっくりという点に注意してください。また、ゼスチャーを交えたりするとより分かりやすくなります。

(手話法) 手まね身振りの会話法です。最近、あちこちで手話講習会が開かれていますので、機会をみつけて手話を学んでみたいものです。

(筆記法) 手のひらや紙に文字を書いて読み合う方法です。多少時間がかかりますが、正確です。
④ 耳の不自由な人が一番困っているのは次のようなことです。
▽ 道路を歩くとき、背後からの音が聞こえない
▽ 病気のとき、病院の窓口などで立ち往生する。

目の不自由な人に対して

▽ 急用のとき電話が使えないなどです。気をつけてあげましょう。

① あいさつをするときは、目の見える人のほうから先に声をかけてください。

次に握手をしてください。手を握ることによって、相手はあなたの身長その他もろもろを察知して親近感を持ちます。

② 目の不自由な人のなかには、全盲と弱視の人がいて、お手伝いの必要性はそれぞれに違います。何が必要かを卒直に聞くことが大切です。

③ 街中で方角を教えるとき

は、左、右、後ろとか、何歩、何メートルの所と正確に言ってください。

④ 案内するときは、白い杖の反対側に立って腕を貸し、目の不自由な人の半歩前を歩きます。

白い杖は、目の不自由な人の目です。杖を持つ手をつかんだり、引いたり、押したりすることは厳禁です。

⑤ 階段やエレベーターでは、上がるか下がるかはつきり説明することが大切です。

⑥ お茶や食事のときは、最初並べられた食器の位置と食器の中に何が入っているかを小声ではつきり説明してください。

物の位置を分かりやすくするには、時計の針の位置で言うとういでしょう。

日光——上野

障害者の夢乗せて 初の専用列車が走る

「一度でいいから電車に乗って旅をしたい」。そんな身体障害者の夢が実現し、十一月三日、日本では初めてという身体障害者専用列車が上野から日光まで走りました。

「フレンドシップトレイン・ひまわり号」と名付けられたこの列車は、同号を走らせる会(大塚一寿実行委員長)が国鉄に働きかけて実現したものです。

この専用列車は、身体障害者百六十人と介護者・ボランティア総勢五百十人を乗せて、午前九時三分上野駅を出発。大橋国鉄日光駅長や星野市教育長らの温かい出迎

えのなか、午前十一時三十分定刻に日光駅に到着しました。

そして、日光市の用意した市民号二台と東武バスに分乗し、二荒山神社に向かい心ゆくまで日光の秋を満喫。帰りには、日光駅前の土産店で一時間ほどのショッピングを楽しみました。

電車の旅、買い物など初めて体験した障害者の顔には晴れやかな笑いがあふれていました。

このひまわり号に乗ったボランティアは「きょうの旅は大成功です。これからも、ひまわり号を全国で走らせるため努力したい」と口々に話していました。

障害者のための マークを知ろう

街を歩くと、いろいろなマークを目にします。そのなかには障害者のためのマークもあります。

マークの意味を知る——これも障害者問題への理解を深めるための一歩と言えましょう。

× × ×
このマークは、手足の不自由な人が利用しやすい建物、施設であることを示すシンボルマークです。



このマークは、そこに手話のできる人がいて、耳や口の不自由な人たちが利用しやすい窓口であることを示すシンボルマークです。



手話窓口